

全米輸におけるこれまでの海外需要開拓の取組

フランスSIAL PARIS 2022 (2022年10月)

パリで開催された欧州最大級の食品見本市に日本産のコメ・コメ加工品のブースを出展。(来場者数：約26万人、出展社数：約7000社)

出展社の商品情報シートを事前に作成し、バイヤー要望を踏まえた商談のアレンジや、現地バイヤーの興味を引くレシピの提案・試食を実施し、コメや日本酒等のコメ加工品の新規販路を獲得。



コメで作るヴェリーヌ（前菜）

Winter Fancy Food Show 2023 (アメリカ) (2023年1月)

北米最大級の食品展示会のJETRO・Japan Pavilion内に全米輸ブースを出展。

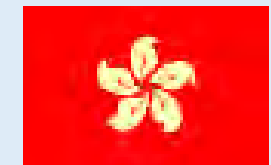
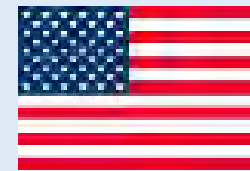
簡便性の高いパックご飯への引合いがあったことに加え、米粉パンケーキミックス・米粉麺が、グルテンフリーに関心の高い現地バイヤーから好評を得て、成約を獲得。



日本産コメ・日本酒購入・飲食者実態調査の実施（3地域）（2022年）

今後のマーケティング活動にあたり課題を明らかにすることを目的として、香港・シンガポール・アメリカの消費者を対象に調査を実施。地域ごとの市場の特性や消費の傾向・共通点、また不満点等を明らかにした。

その結果、日本産米・日本酒に対して良好な評価が得られたものの、必ずしも購入等のリピートにつながっていないことが明らかになり、その要因などからリピーターの育成につながる施策を検討。



品目団体による輸出促進のための取組について

- 品目団体の認定制度は、輸出促進法に基づき、輸出重点品目ごとに、**生産から販売に至る関係者が連携し輸出の促進を図る法人を、その申請に基づき、所管大臣が認定品目団体として認定するもの。**
- コメ・コメ加工品の輸出においては、これまで**全米輸がオールジャパンでの需要開拓等を担ってきたところ。**
- 令和4年12月5日付けで全米輸が輸出重点品目である「**コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品**」の認定品目団体として認定。
- 全米輸では、引き続き、コメ・コメ加工品の輸出拡大に向け、**オールジャパンでの需要開拓や現地ニーズの把握、会員数の増加による自己財源の確保等**を行っていく考え。



認定品目団体
認定式の様子



品目団体の法認定要件

- **生産から販売に至る事業者が構成員に含まれ、業界の輸出関係者全体を代表して取組を実施できる体制を有している。**
- 輸出促進業務を実施するために必要な**自己財源の確保に向けた方針を有している。**
- 輸出先国における**オールジャパンでの需要の開拓等の業務を行う。**

全米輸における取組

- 全米輸には、米卸・輸出事業者のほか、産地である全農・ホクレン等が会員として参加。プロモーション事業の開催や輸出先国・地域別の情報発信等を実施。
- また、
 - ① **会費水準を見直し（引き下げ）、会員数の増加に努めるとともに、事業参加負担金の徴収による自己財源の確保**
 - ・ 正会員の年会費を30→15万円に引き下げ
 - ・ 1事業参加毎に事業費の2%（上限20万円）を参加負担金として徴収
 - ・ 事業に参加しない産地向けに賛助会員制度（年会費3万円）を導入
 - ② **会員サービスの強化（専門家の活用による相談対応、情報発信等）**
 - ③ **会員ニーズに沿った事業の企画を図る。**
- 全米輸において日本産コメ・コメ加工品の輸出促進のため、
 - ① **統一ロゴマークを作成、プロモーション等において活用**
 - ② **日本産米の品質面の優位性に関する調査・分析を実施。**
- また、効率的な輸出に向けて、物流面・規格等についての会員間での意見交換等を実施。
(スマート・オコメ・チェーン・JAS規格についても積極的に関与)



THIS IS
JAPAN QUALITY
日本のおいしい米。

コメ海外市場拡大戦略プロジェクトについて①

- 「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト」は、コメの輸出量を飛躍的に拡大すべく、平成29年9月に立ち上げ。
- 本プロジェクトは、目標及び取組方針を掲げてコメ・コメ加工品の輸出拡大に取り組む事業者・産地が参加可能なプラットフォームであり、参加者への支援を実施。

《国による支援》

- ・ 戦略的輸出事業者と戦略的輸出基地（産地）等が連携して実施する取組を後押し
- ・ （新たに）輸出に取り組む事業者・産地に対するマッチング・相談等サポート
- ・ 輸入規制についての情報発信

支援

戦略的輸出基地 （産地）

海外マーケットに対応可能な、質、数量、価格の面で競争力を有するコメの生産を推進。



戦略的輸出事業者 （卸、輸出商社、メーカー等）

輸出拡大の目標、当該目標達成のためのターゲット国・地域・市場及び取組方針を掲げ戦略的に海外市場を開拓。



連携

連携

農林水産物・食品
輸出支援プラットフォーム
（在外公館、JETRO海外事務所、
JFOODO海外駐在員）

認定農林水産物・
食品輸出促進団体
（一般社団法人 全日本コメ・
コメ関連食品輸出促進協議会）

産地と輸出事業者が一体となった
マーケットイン型の海外需要開拓

輸出目標の達成に向けた

コメ・コメ加工品輸出の飛躍的増加